会 議 録

会議の名称	西東京市図書館協議会 令和6年度第4回定例会
開催日時	令和7年2月21日（金）午後1時45分から3時30分まで
開催場所	田無第二庁舎4階 会議室1
出席者	委員：島会長、鈴木副会長、上田委員、吉田委員 山辺委員、長谷川委員、福士委員、高橋委員 欠席：湯浅委員、藤田委員 事務局：大庭館長、司城副館長、金本庶務係長
傍聴者	0名
議 題	第1 諸報告 第2 令和7年度図書館事業計画（案）について 第3 その他
会議資料の名称	参考資料 1 令和7年度図書館事業計画（案） 2 図書館視察報告書（案） 3 図書館視察報告書（案）多摩市中央図書館 4 図書館視察報告書（案）昭島市民図書館
記録方法	☐ 全文記録 ☒ 発言者の発言内容ごとの要点記録 ☐ 会議内容の要点記録
会 議 内 容	
<p>○図書館長 定刻となりました。定足数に達していますので、只今から令和6年度西東京市図書館協議会第4回定例会を開催します。本日は、藤田委員、湯浅委員から欠席のご連絡をいただいています。</p> <p>本日の会議の資料として、次第を配布しております。</p> <p>また、令和7年度図書館事業計画（案）と参考資料として図書館視察報告書（案）の修正版になります。次第の他に2枚あり、多摩市立中央図書館と昭島市民図書館の視察した内容を書き入れた報告書を2つ配布しています。以降の進行は会長にお願いします。</p> <p>○会長 今年度最後の協議会になります。</p> <p>次第に沿って議事を進めます。議題1、諸報告について、事務局からお願いします。</p>	

○図書館長

報告事項として1点報告します。

広報にしとうきょうの2月15日号に図書館における音訳者のことが記事として掲載されました。詳しくはお手元に配布した広報にしとうきょう2月15日号をご参照ください。

(記載記事紹介)

次に前回、図書館視察報告書(案)について、委員の皆様からご意見をいただいた内容を反映した修正版を作成しましたので、参考資料として配布しております。

報告事項は以上となります。

○会長

諸報告がありましたが、何かご質問、ご意見ありますでしょうか。

○副会長

音訳者の方々の男女比はどのようなものなのでしょうか。

○副館長

ほぼ女性の方々が占めており、過去10年程度で男性は、両手で足りる程度しか参加しておらず、現在、男性の音訳者はおりません。

○委員

音訳者として参加される方ではなく、音訳図書などを利用される方の男女比はどうでしょうか。

○副館長

音訳者として参加される方々の男女比ほどは、極端なことはなく、利用される方では、若干女性の方が多い程度で、男性の方も良く利用しています。

○委員

旧田無市の谷戸図書館開館時でも、ハンディキャップサービスとして音訳ボランティアはスタートしていましたが、朗読ボランティアも開始していましたが。その時の参加者には男性がいた記憶がありますが、その後、ボランティアの募集を通じて、男性の参加者は増えなかったのですか。

○会長

市販の朗読CDなどの音源資料では、男性のアナウンサーや俳優などが音声を担当しているので、男性の声で聞ける資料はあると思います。男性の声が聞き取りにくいということも、市販の状況から考えられないと思います。

○副館長

西東京市になってからですが、男性の方の参加者はあったと記憶しています。その後、何度か募集している中、応募された男性の方はいたものの、音訳ボランティ

アとして独り立ちできるところまで、初級、中級の研修に参加し、音訳技術を向上させた現役世代の方となった場合、ほとんどいなかったと記憶しています。

過去に参加された方々でも現役世代では、音訳に関して知りたいという動機で参加される方もおり、研修などを続けてボランティアとして独り立ちされた方々は、現役をリタイアされた60歳代以上の方々だけになります。

○副会長

図書館視察報告書（案）の件で、前回、昭島市民図書館の児童コーナーの書架について、書架の並びが独特で自分がどこにいて何を探しているのかわかりづらい旨の話をさせていただきましたが、何列も同心円周上にある棚で高さも子どもにとって高く、絵本がタイトルのあいうえお順に並んでいました。例えば、板橋の児童書コーナーも書架の配置は何列にもなっていて、独特の分け方もされていましたが、絵本や児童読み物は書架の向こう側も見られる高さでした。

NDC分類が全てではないので、分類順に並べる必要はないのですが、大人の本は、NDC分類順など規則性があれば慣れていくと思うのですが、子どもの本は、子どもの体感で、どこに何があるかわかることも大事だと思います。図書館視察報告書では、そのような視点で記述できる項目として「書架蔵書構成」があると思いますが、職員の方々には報告書を作成する際に、特に児童書において、NDC分類順以外の並べ方をしている場合、しっかりと記録してもらい、新中央館の児童書コーナーを作る際の参考にさせていただきたいと思います。

○副館長

図書館視察報告書を作成する際の視点として、職員に周知していければと考えています。

○会長

報告事項について、他に質問、意見がありますか。

無いようなので、次の議題2、「令和7年度図書館事業計画（案）について」に入ります。事務局から説明をお願いします。

○副館長

令和7年度図書館事業計画（案）について、説明します。令和6年度における図書館事業計画と変更した部分を中心にお話します。

全体的には、表現をよりわかりやすく修正しています。また、継続して実施している取組については、令和6年度の事業計画に加えて、書き入れている部分もありますが、各基本方針における施策は、令和6年度からの図書館計画に沿って実施されるものであるため、大きく変更している箇所はありません。

修正等している箇所について、基本方針1から説明します。

例えば、基本方針1の1「外国語資料について、探しやすく、使いやすい書架づくりに取り組みます」がありますが、令和6年度では基本方針1の2で記述して掲載する順番を変えています。

また、令和7年度の事業計画の基本方針1の2で言えば、令和6年度では基本方針1の1で記述しているとともに、令和6年度の内容を書き加えており、「児童・

生徒に役立つ調べ学習の資料を収集します。」から令和7年度では、「児童・生徒に役立つ調べ学習の資料の収集を継続し、適切な保存・除籍・入替を行います」に修正しています。

基本方針1の3では「ハンディキャップサービス資料」の文言を追加していません。基本方針1の5では「多くの方に読み継がれ、後世も読み継がれる保存すべき資料を積極的に買い替えます。」から「多くの方に読まれ、後世にも読み継がれるよう保存すべき資料の買い替えを積極的に行います。」というように表現も若干修正していますが、基本方針1の6、7では変更はありません。

次に基本方針2の1では、デジタイズ等について、利用状況からいけば維持している状況であり、「利用拡大」という表現に見合う施策が実施できる要素もないことから、「利用拡大」という表現を削っています。基本方針2の7では令和6年度には「レファレンスサービスを周知する取り組みとして、館内やウェブサイト、レファレンス資料の紹介やレファレンス事例の公開を行います。」としてレファレンスサービスの周知、紹介を主体として取り組みましたが、令和7年度は調べる学習コンクールの取り組みの中で培った経験を職員全体に対する研修等を実施することによりレファレンス能力を高めようと考えています。基本方針2の9では、令和7年度の図書館管理システム入替が実際にあることから、表現を修正しています。

基本方針3の1では、表現修正として「中央図書館」を削除しています。また、基本方針3の3は、令和6年度で電子化資料の活用を謳っていましたが、令和7年度では、電子化が一段落したことから、市民の活用につながる装備と情報発信について取り組むこととしています。

基本方針4では、1番の項目として第5期西東京市子ども読書活動推進計画の策定があることから追加しています。また、令和6年度では「西東京市子ども電子図書館」を活用したYA（ヤングアダルト）向けイベントについて記述していましたが、令和7年度では、電子図書館に限定せず、きっかけづくりのイベントを実施する旨を書いています。これは、電子図書館サービスを関連させたYA世代をターゲットとした参集型のイベントを実施することがなかなか困難であったため、ターゲットを絞った表現としています。

基本方針5では、4番の項目にある「音訳者中級養成講座」は、令和6年度では初級対象であった方を養成するための講座となることから修正しています。

基本方針4、5では、変更した以外は、令和6年度の基本方針における取組に変更はなく、武蔵野大学や子どもの読書活動に関わる市民団体との協働など、継続して実施していきます。

基本方針6では、2番の項目を「次期図書館管理システムの更新に取り組みます」に変更しています。これは基本方針2の9に示したとおり、次期図書館管理システムの更新が令和7年度末にあることから、システムの安定的な運用を表現していた令和6年度から変更しています。

○会長

令和7年度図書館事業計画（案）の説明に関して、何か質問、意見がある方、お願いします。

ないようであれば、次の議題3、その他ですが、事務局の方から何かあります

か。

○図書館長

市民公募の件についてですが、市報3月15日号にて募集を開始します。3月25日、火曜日消印有効となっており、作文による選考になります。テーマはまだ決まっていないのですが、「図書館が果たすべき役割について」を予定しています。事務局としては、現在の市民公募委員である2名の委員に継続をお願いしたいところではありますが、任期が2年間と決まっていますので、出来れば今回作文を応募していただければと思います。

○会長

市民公募委員以外の私たち委員の方は、どのように考えているのですか。

○図書館長

市民公募委員以外の協議会委員の方々には継続して委員をお願いしたいと考えておりますが、本日の会議の後、各委員個別に意向を確認する予定です。

○会長

その他で事務局から何かありますか。

○図書館長

特にありません。

○会長

それでは、令和5年5月から約2年間、図書館協議会委員として、感想などある委員の方がいれば、一言いただければと思います。

○副会長

「基本計画・展望計画」の年からですので、気づけば本当に長く委員をさせていただいています。ボランティアとしてもヘビーユーザーとしても図書館のない暮らしはありえない私なので、これからも西東京市の図書館が市民の大事な場所であり続けるように、関わっていければと思います。この間ずっと西東京市図書館が直営で責任を持ち、正規の司書採用も続けて運営されていることに感謝しています。今後ともよろしく願いいたします。

○委員

この2年間で地元大学との連携事業がさらに進み、大学生が地元の図書館の事業にボランティアスタッフとして参加できたことは大学生にとっても貴重な体験であり、大変有意義なことであると感じています。今後も双方にとってよい形となる連携が進んでいくことを期待しています。

新たな西東京市図書館計画も策定された中、西東京市図書館の理想的な将来像の追求をなお一層深めていくことが必要ではないかと考えています。

○委員

大好きな図書館に対して、多文化共生の視点から質問をしたり意見を言ったりできる場に参加させていただき、感謝しています。

○委員

市民公募の委員として協議会に携わるなかで、西東京市の図書館が各種サービスの基本的な理念を大切にしていることがよく伝わりました。

外側を見れば、成人向けの電子書籍の充実や空間としての目新しさ、託児サービスなど、一見するとキラキラして見えるものも多々ありますが、予算の制約もあるなかで、時代の流れを読みつつも、より多くの市民ニーズに応えられるよう、これからも基本的なサービス提供を大切する姿勢は変わらず続けてほしいです。

○会長

この2年間、お世話になりました。この期は協議会ではありませんが、計画策定懇談会が設置され、新たに「西東京市図書館計画」が策定された時期でもありました。図書館が一步進んだ2年間だったと思います。会長として至らぬ点ばかりで申し訳ありませんでした。委員の皆様、職員の皆様のご協力が無事、任を終えたことに感謝いたします。

それでは、少し時間は早いようですが、今年度の図書館協議会を終わります。ありがとうございました。